



「立山砂防世界遺産登録推進ユースプログラム」は、専門家を招いての世界遺産講座や世界遺産“候補”である立山カルデラの歴史的砂防施設群などの見学を通じて、若い世代に富山県の世界遺産“候補”を知ってもらうことを目的とした人材育成プログラムです。この取り組みは平成25年度に大学生等を対象に開始されましたが、一昨年度(令和5年度)からは「親子コース」が新設されています。今回の「親子コース」には、5名の児童・生徒の皆さんとその保護者の方々を対象に実施され、立山カルデラ360° VRシアターや土石流体感3Dシアター、さらには土石流模型実験を通して、土砂災害の恐ろしさや立山カルデラの雄大な自然を体感していただきました。

開催日：令和7年7月25日(金)

参加者：10名(親子5組)

場所：立山カルデラ砂防博物館、立山砂防事務所構内など

主催：富山県世界遺産登録推進事業実行委員会



土石流模型実験



砂防堰堤が土石流を止めた！

堰堤がないと町が...

立山カルデラ砂防博物館、SABO展示室



砂防について学びましょう！

どんな災害があったのかな？

防災シミュレーション+災害ライブラリ

パネル説明



土石流ってどんな現象??

土石流体感3Dシアター



土石流が飛び出してきた！



立山カルデラ 360°VRシアター Tateyama's Nature 360° VR Theater